

香港ドル=13.42円  
 国ウォン=0.09円  
 ルピア=0.79円  
 シンガポールドル=74.80円

【台北＝橋本学】台湾最大のテキスタイル展示会「2016台北紡織展（TITAS）」が17日、台湾・台北市内の台北世界貿易センター南港展覽館で開幕した。1997年の初開催以来今回で20回目を迎え、出展者数は9カ国・地域から376社と過去最多の水準となった。約1万5000平方メートルの会場は初日午前中から多くの来場者でにぎわった。会期は明日19日まで。

# 初開催から20周年

「台北紡織展」開幕

## 台湾の新素材一堂に

開幕セレモニーは、蔡英文総統が出席するとあって厳重な警備の中、行われた。冒頭、20周年を記念して映像でこれまでのTITASの歴史と台湾繊維産業の歩みを振り返った後、主催者を代表して蔡総統が祝辞を述べた。

開幕セレモニーは、蔡英文総統が出席するとあって厳重な警備の中、行われた。冒頭、20周年を記念して映像でこれまでのTITASの歴史と台湾繊維産業の歩みを振り返った後、主催者を代表して蔡総統が祝辞を述べた。



開幕セレモニーには蔡英文総統が出席、テープカットに加わった（写真左から3人目）



来場者で混み合う会場

材。特に現地大手メーカーが披露した繊維とT。T（情報技術）とを組み合わせたスマートテキスタイルは来場者から高い関心を集めている。さらに複数の企業が心拍測定や体調管理での活用をアピールした。

台湾企業が従来強みとするスポーツ・アウトドア分野での高機能素材の進化や世界的に需要が高まるファッション性と自然環境への配慮を両立した新素材の発表も相次いで指す。

中国国家统计局によると、9月の衣料の消費者物価指数（CPI）前年同月比0.7%で、前月より0.1%上昇率1.2%に鈍化した。衣料のうち計は0.8%。

9月の中国衣料CPIは、各1.5%、1.5%。9月の衣料の工業生産者出荷価格指数（PPI）は、各1.5%、1.5%。9月の衣料の工業生産者出荷価格指数（PPI）は、各1.5%、1.5%。

### 中国繊維相場

品目	規格	単位	10月13日	10月10日	比較
国産綿花	3128B	元/トン	15,416	15,418	▲ 2
純綿コーマ糸	40番手	元/トン	26,050	25,800	250
ポリエステル綿混糸	45番手	元/トン	17,615	17,500	115
デニム布	10番手使い	元/バール	9,170	9,140	0.030
純綿綾織	32番手使い	元/バール	5.66	5.6	0.060
純綿ポプリン	40番手使い	元/バール	7,949	7,92	0.029
ポリエステル綿混ポプリン	45番手使い	元/バール	4,464	4,463	0.001
ポリエステル短繊維	1.56dtex/38 <sup>スリ</sup>	元/トン	6,970	6,910	60
ポリエステルDTY	167dtex/48f	元/トン	8,700	8,650	50
ポリエステルFDY	76dtex/24f	元/トン	-	-	-
ナイロンDTY	78dtex/24f	元/トン	17,300	17,500	▲ 200
ナイロンFDY	78dtex/24f	元/トン	16,000	16,100	▲ 100
レーヨン長繊維	133dtex	元/トン	37,650	37,650	0
レーヨン短繊維	1.67dtex/38 <sup>スリ</sup>	元/トン	16,860	16,860	0
アクリル短繊維	1.67dtex/38 <sup>スリ</sup>	元/トン	12,600	12,600	0
スパンデックス	44dtex	元/トン	29,500	29,500	0
PTA		元/トン	4,600	4,620	▲ 20
EG		元/トン	5,230	5,265	▲ 35
CPL		元/トン	10,950	11,050	▲ 100
AN		元/トン	10,500	10,600	▲ 100

(出所) 中国紡織経済情報網

毎週火曜日付掲載

国内産地企業

# 輸出拡大へアピール

## TITASで独自産品

【台北＝橋本学】今日19日まで台北で開かれていた「台北紡織展(TITAS)」の、スポーツ・アウトドア分野の機能テキスタイルが圧倒的な存在感を示す会場で、日本の繊維産地企業が独自の製品を出展し、輸出拡大につなげようと懸命にアピールしている。各出展者の話で共通するのは「国内市場縮小への危機感」と「海外での販路開拓の必要性」。

日本毛布工業組合(大阪府泉大津市)は今年、

ル=13.37円  
オン=0.09円  
ア=0.79円  
ポ=0.88円



初出展した日本毛布工業組合

販売代理店契約を結んだ。台湾のアルゴ社と共同で初出展。オーガニックコットン、シルク、カシミヤ素材や国内紡績の機能アクリルを使った高級毛

口憲一専務は「今回展だけだけでなく、今後、台湾でのインタ一ネット販売も始めると話す。オーガニック繊維製

品を主力とするハート(高知市)も初出展した。中国、欧州、米国の認定機関によって製品段階でオーガニックと認められたブランケット、タオル、ベビー服、ペット用品などを出展。人体と自然環境に優しい繊維製品のOEM(相手先ブランド)による生産・ODM(相手先ブランド)による企画

手先ブランドによる企画・生産)の受注拡大を目指す。山岡俊文社長は「認証を受けた当社の製品を台湾だけでなく台湾経由で中国にも売り込みたい」と話す。

3度目の出展となる群馬県桐生市。プースは桐生織物協同組合の朝倉染布、アート、フジレース、独自のプリント柄の織物、シルクプロテインで肌が良いというシーツや枕カバー、刺しゅうのアルクセサリーをアピールした。

桐生市産業経済部の深澤真主任は「当市の歴史ある繊維産地の衰退が懸念されている」とし、「産地の商品を世界に向けて発信したい。台湾はその第一歩という位置付け」と言う。

### ナムベト 17年初までに発行へ 繊維・縫製品の国家規格

ベトナム商工省は現行の検査規則の廃止と、その代りに代わる繊維・縫製品に、費用も時間もかかる技術的な国家規格を設けることを提案した。この新規格は2017年初めに発行される。ベトナム・ニュースによると、ベトナム繊維協会(VITAS)の陳情を受け、同商工省はいくつかの問題解決のための提案を、エン・スアン・フック首相に提出した。この提案には繊維製品の輸出入に際しては繊維製品の輸出停止する通達23号を公布し、通達28号は11月26日に施行される。13日付のアルデヒド検査の廃止も含まれている。同繊維協会「VNエクスプレス」がいう。

規定では、企業がわずか10日の布地見本を輸入する場合にも検査が必要で、100%の経費が発生することから、ベトナム縫製協会(VITAS)が競争力低下を懸念して規定の廃止を求めている。計画投資省の報告によれば、検査が実施されて以来、年間8000件に上る輸入繊維製品のうち、許容量を上回る物質が検出されたのはわずか0.0125%で、健康に影響を及ぼす水準に達してはなかったという。(NNA)

とは異なる価格で販売し、説明した。  
 以下の場合には、1万坪を従来比10%増やしているという。ピンクや黄色の既製品を黒色に染め直す作業も実施し、供給不足に対応。年末にかけては例年輸出量が落ちるため、国内需要に対応できなかったが、金曜(21日)には行き渡る見通し」と

タイ繊維業協会のバンディット事務局長はNNAに対し「週末は突然のことで供給が間に合わなかったが、金曜(21日)には行き渡る見通し」と

〔NNA〕

## 台北紡織展開幕

# 過去最多の3万人超

## 台湾繊維産業の針路示す

【台北＝橋本字】台湾最大のテキスタイル展示会「台北紡織展(TIT AS)」が19日、3日間の会期を終え、閉幕した。来場者数は延べ3万人を超え過去最高を更新する見込みだ(再入場者もカウント、主催者推定値)。開幕セレモニーには蔡英文総統が総統として20周年の節目となった今

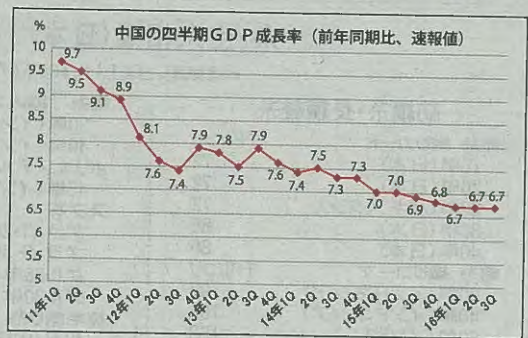
遠東新世紀のスマートテキスタイル「ダイナフィード」



ITAS史上初めて出席し、会場を約40分間観察した。現地テレビ局などが一斉に一連の様相を取り上げ、台湾内で繊維産業の再評価が飛躍的に高まった。節目の回にふさわしい台湾繊維産業のこれから

「針路をみず展不念だった。今回展で注目度の高かったスマーにより人間の生体情報をトテキスタイルは、これまポーツインナーとして健康管理やスポーツでのトで台湾が力を付加価値路線の新たな領域を象徴する。世界的にはまだ実用例に乏しく目新しいという次元だが、今後の展開によってはスマートフォンのように爆発的な成長が期待できる分野だ。現地繊維大手の遠東新世紀はスマートテキスタイル「ダイナフィード」を披露した。ドイツのスポーツ展「ISPO」で「ISPOアワード」を受賞した商材で、カーボ染色する技術やペットボトル由来の再生ポリエス

水、電力、薬剤、染料を効果的に削減できる糸を发表了。菁華工業は染色工程で



## 16年第3四半期も6.7%

中国GDP成長率は8.2%の伸びにとどまり、上半期より0.8ポイント鈍化した。社会消費品小売総額の1~9月伸び率は10.4%で、上半期(1~6月)と同じ。固定資産投資(農家除く)は8.2%の伸びにとどまり、上半期より0.8ポイント鈍化した。社会消費品小売総額の1~9月伸び率は10.4%で、上半期(1~6月)と同じ。9月人民元建て貿易総額は、ストーリー性を強調

龍定方織品(上海)

9月人民元建て貿易総額は、ストーリー性を強調

【台北―橋本学】織物産地の群馬県桐生市の行政関係者などで行く視察団が19日、「台北紡織展」を視察した。今年には市長のほかにも同市議会議員や行政幹部らもメンバーに加え、これまでに最も大規模な視察団となった。出展する桐生市のブースの応援と展示会の視察、主催者側との交流が狙い。

## 「台北紡織展」へ 最大規模の視察団派遣

桐生市



多彩なメンバーで（前列左から三番目が  
亀山市長）

### 市長「今後も支援継続」

でもある朝倉染  
布の朝倉剛太郎

りとしての位置付け。今後  
も産地の発展のために継続  
して支援する」と述べた。

今回が初の視察で出展者

社長は、「世界で当社でしか  
できない加工がある。例え  
ば、台湾アキスタイルメー  
カーから生地を買って、当  
社で加工してさらに再び台  
湾に販売するといった双方  
向が利益となる経済交流に  
つながれば」と話した。

桐生市は同展示会に今回  
で3回目の出展。ブースは  
桐生織物協同組合に加盟す  
る4社で構成し加工や織物  
製品、刺しゅうを使ったア  
クセサリー、シルク由来の  
化粧品などもアピールし  
た。

# 中国・アセアン 繊維情報

(10月21日午後3時、インターバンク市場での参考値)

- ・1元=15.43円
- ・1台湾ドル=3.30円
- ・1バーツ=2.97円
- ・100ドン=0.46円
- ・1香港ドル=13.41円
- ・1韓国ウォン=0.09円
- ・100ルピア=0.79円
- ・1シンガポールドル=7

## 台北紡織展

### 日系企業「成果あった」

#### 来場者数は前回比8%増

【台北＝橋本字】盛況 野まで幅広い独自の機能のうち19日に閉幕した素材を出展した。プース

「台北紡織展(TITTA S)」。主催者によると来場者数は前回比8%増だった。日系出展者に手応えを聞いたところ、「来場客が以前より増えた」「一定の成果が得られた」「次回展も参加したい」との声が返った。

東洋紡の現地法人、台湾東洋紡のプースには展示会終了時刻前まで人だかりができていた。今回プースを1.5倍に広げ、アパレルから資材分

工業組合の藤原正輝副理

事長は「東京の展覧会も感じました。次回も参加したにも反応が良く、18社とい」と話す。

井久美子繊維機械事業部 来場客があった。スポー係長は「台湾大手紡にはツ分野を中心にシャリ感のある糸使いが好まれるようになつたトレンドの影響もあるかもしれない」と述べる。

### 手袋でラジコン操作

紡産研が新技術披露

【台北＝橋本字】ラジコンカーを手袋で遠隔操作する。こうしたスマートテキスタイルを使った新たな技術が「台北紡織展」で披露された。

開発したのは台湾政府が支援する繊維技術研究機関「紡織産業総合研究所(紡産研)」。体調管理やスポーツトレーニングに用いられるスマートテキスタイルとは視点の違った活用方法に来場者は注目した。



ラジコンカーのスピード、方向をセンサー付きの手袋でコントロールできる

指、中指へと走る。

これまでリモートコントローラーで操っていたように、ラジコンカーを立体交差する8の字コースで走らせられる。操作方法は、物をつまむ様中指と親指を近づけていくと車が走り出す。近くなるほどスピードが上がる。方向は手首の向きで制御する。右に手首をねじると車は右に、左に手首をねじると車は左に、薄いニット素材で手のひら全体にねじると左に動く。紡産研にすると娯楽、医療、スポーツ、レジャーなどでの活用方法を模索しているという。

せている。今回展では衣料用途に加え、安全・安心やエコロジィなどの付加価値がより求められる産業用途をターゲットにする。3Dデザインシステムを核とした、ニット製品の企画から生産、販売促進までのトータルソリューションの提案も注目されている。

島精機製作所は、「ホールカーメント」横編み機「MACH2XS」を前

面に打ち出している。同機は、製品の高付加価値化を目指す中国のニッターへの導入が進んでいる。3Dデザインシステムを核とした、ニット製品の企画から生産、販売促進までのトータルソリューションの提案も注目されている。

## と業務提携

「ヤーS P I R」内販で

松克明部長が記者会見し明らかにした。小松部長は「東伸工業は中国で染色機の販売で豊富な実績

を擁し、販売網を広範囲に築いていることから提携に至った」と説明。中国を皮切りに、他地域でも提携する可能性を示唆した。

東伸工業は、ナッセンジャーS P I Rの搬送機をコニカミノルタに提供

リンターは、同社以外に伊MSとオランダ・SPGプリントが展開し、世界で約10台が導入されている。

染機の販売で豊富な実績

同社で中国・台湾工場の営業を統括するアレクサンダー・クリューナー氏は「台湾企業が生地を輸出する際に、客観的な品質データを示すことが必要となる。風合いで

展 織 紡 北 台

## ドイツから初出展

### 風合い数値化装置アピール

【台北＝橋本学】19日、ドイツから初めて出展した「台北紡織展」に閉幕した「台北紡織展」で出展したエムテック・エレクトロニクス社は、

生地の風合いを数値化する装置「テキスタイル・ソフトネス・アナライザー(TSA)」を訴求した。TSAは、テキスタイルの繊維質、表面の構造、剛性の三項目を数値にすることで、より客観的に風

合いを評価ができるようになる装置。衛生紙産業では10年ほど前からTSAによる検査が標準となっているという。

世界中のテキスタイルで品質の差別化が進む今日、生地の風合いは人の肌に直接触れるため、購買の決め手となる最大の要素の一つ。だが、その風合いに関する評価方法については依然として人の感覚によるテストが主流だ。人の感覚は、テスト時の体調や気分、個人の好み、文化的背景といった主観的要素が最終評価に影響を与える恐れがある。

困難なほどの可能。そのデザインを転

相談を受けることが多い

# 中国・アセアン 繊維情報

(10月27日午後3時、インターバンク市場での参考値)

- ・1元=15.45円
- ・1台湾ドル=3.31円
- ・1パーツ=2.99円
- ・100ドン=0.46円
- ・1香港ドル=13.49円
- ・1韓国ウォン=0.09円
- ・100ルピア=0.80円
- ・1シンガポールドル=75.15円

## 台湾繊維産業の行方

### TITAS 20周年を越えて

台湾最大のテキスタイル展示会「台北紡織展(TITAS) 2016」(今月17、19日開催)は、台湾繊維産業にとってこれまで蓄えた技術の集大成であり、次の節目に向かう身砲であった。日本と同様、既に成熟した台湾繊維産業はこれからどこへ向かうのか。

前回紹介した機能テキスタイルの進化と環境に配慮した素材の強化はその道しるべの一つ。加えて、もう一つ、主催者が今回展の大きなテーマとして設定した新たな分野がある。ICT(情報通信技術)と繊維の技術を組み合わせたスマートテキスタイルの領域だ。

チューブフィルムをスポーツインナーに組み込み、生体センサリング機能を持たせた。着るだけで心拍数やモニタリングデータを採ることができ、この革新的な技術はドイツで今年開かれたスポーツ分野の専門見本市「ISPO」で最も評価の高い金賞を受賞した。近い将来、同社グループが運営する病院で試験的に導入するという。



遠東新世紀のスマートテキスタイルを使った「ダイナフィード」

「この分野で台湾は日本を半歩上回る技術水準にある」。スマートテキスタイルに詳しい日本のメーカー担当者はTITASの展示をこう振り返った。ただ、台湾企業でも技術はまだ試験的な段階のものが多いと、ビジネスでの実績はないと聞いていい。世界的な開発競争は今始まったばかりだ。しかし、台湾繊維企業がこの分野で新天地を切り開く日はそう遠くないように思われる。

## 「日本を半歩上回る技術」

元来、精密機械工業を得意とする台湾の強みが生きる分野でもあり、今後、活用法によって、爆発的な市場を生み出すポテンシャルがある。展示会場に入らずとも、無線のデータ通信機能をスポーツウェアと融合する技術を披露した。会場ではLEDランプの明滅をコントロールするウェアを試作してアピール。外からの音にウェアが反応して、薄い導電カーボンナノ

チューブフィルムをスポーツインナーに組み込み、生体センサリング機能を持たせた。着るだけで心拍数やモニタリングデータを採ることができ、この革新的な技術はドイツで今年開かれたスポーツ分野の専門見本市「ISPO」で最も評価の高い金賞を受賞した。近い将来、同社グループが運営する病院で試験的に導入するという。

台湾プラスチックグループのフォルモサタフタも、無線のデータ通信機能をスポーツウェアと融合する技術を披露した。会場ではLEDランプの明滅をコントロールするウェアを試作してアピール。外からの音にウェアが反応して、薄い導電カーボンナノ

「この分野で台湾は日本を半歩上回る技術水準にある」。スマートテキスタイルに詳しい日本のメーカー担当者はTITASの展示をこう振り返った。ただ、台湾企業でも技術はまだ試験的な段階のものが多いと、ビジネスでの実績はないと聞いていい。世界的な開発競争は今始まったばかりだ。しかし、台湾繊維企業がこの分野で新天地を切り開く日はそう遠くないように思われる。

(おわり)

# 中国・アセアン 繊維情報

(10月26日午後3時、インターバンク市場での参考値)

- ・1元=15.35円
- ・1台湾ドル=3.30円
- ・1バーツ=2.98円
- ・100ドン=0.46円
- ・1香港ドル=13.43円
- ・1韓国ウォン=0.09円
- ・100ルピア=0.80円
- ・1シンガポールドル=74.95円

## 台湾繊維産業の行方

### TITAS 20周年を超えて

台湾最大のテキスタイル展示会「台北紡織展(TITAS) 2016」が17、18日、台湾・台北市の台北世界貿易センター南港展覧館で開催された。会期中は台風22号の接近が心配されたが、時折やや強い風とともに小雨が降った程度で、1万5000平方メートルの会場は連日、多くの来場者でにぎわった。TITASを通じて、台湾繊維産業の行方をみる。

今回展は1997年の初開催以来、20回目の節目に当たり、記録の多い展示会だった。出展者数は前回比6社増の376

社・団体、来場者数は8%増の3万人超となり、ともに過去最多を更新した。展示会初日の開幕レモニーには、今年5月に就任した蔡英文総統が出席した。TITAS史上初めでの、開会式への総統出席となった。これ

が地元大手メディアの注目を飛躍的に高め、台湾繊維産業が改めて多くの人に評価されるきっかけとなった。展示内容も20周年の節目にふさわしく、これらの繊維産業の針路を予見させるものだった。目玉となったのはやはり、出展者の8割を占める台湾企業の展示。これまで欧米市場を主戦場としてきた彼らが今回新たに打ち出した付加価値は、日本の繊維産業の今後の針路も示唆するものだ。まずは従来、台湾が強みとしてきた合繊を主体とした機能テキスタイルの進化だ。機能といえは吸汗速乾、抗菌防臭、接触冷感、吸湿発熱、透湿

## 環境保全が新たな価値に

防水、超軽量、ストレッチ……など無数ある。今としてみ掲げられた。回も素材と加工のバリエーションの広がりや再生ペツと進んだ。特に台湾繊維大手に共通して見られたのが、従来の機能に加え「地球環境に優しい」という価値の創造で、展示

会の大きなテーマの一つとして掲げられた。具体的には、バイオマテリアル由来のポリエステル繊維、貝殻や海藻と結合した天然資源を原料とする繊維の開発、CSRや企業イメージの



台湾繊維大手は環境配慮型の新素材をアピールした(写真は台湾大手、台湾プラスチックグループのブース)

境負荷の低い顔料、最終加工薬剤の開発、生産工程での温室効果ガスの大幅な削減といった具合に、原料から最終製品に至るまでのあらゆる角度からの環境負荷の低減に向けた取り組みを付加価値として訴えた。日本でも環境保全に貢献する商品は徐々に増えているものの、それ自体が大きく稼ぐ商材とはなっていない。展覧会でも、関係ではいられないはずだ。

向上などプラスチックの要素としての意味合いが強い。ところが、今回展の台湾企業は環境保全に貢献する商材や技術を差別化するための強みとしてはっきりと捉えてアピールしていた。こうした打ち出しの背景には、台湾企業の主な顧客である欧州、米国の有力ブランドからのニーズの高まりがある。さらに来月に発効する地球温暖化対策の国際的な新枠組み「パリ協定」は、環境保全ビジネスの市場を広げると見られる。世界的なメガブランドのバイヤーたちも当然、この196カ国・地域が参加する協定を、市場を拡大する商機とらんでいる。日本の繊維産業も決して無関係ではないはずだ。